

(2018 作物群 なす)

別紙2-1 中長なす(品種:千両)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場



写真1. 第1回散布時の繁茂状況



写真3. 第2回散布時の繁茂状況



写真5. 第3回散布時の繁茂状況



写真2. 第1回散布時の草丈



写真4. 第2回散布時の草丈



写真6. 第3回散布時の草丈

(2018 作物群 なす)

別紙2-1 中長なす(品種:千両)



写真7. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況



写真9. 最終散布14日後試料採取時の果実の状況



写真8. 最終散布14日後試料採取時の草丈



写真10. 最終散布14日後試料採取時の果実の状況

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

(2018 作物群 なす)

別紙2-2 小なす(品種:十市小なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場



写真1. 第1回散布時の繁茂状況



写真3. 第2回散布時の繁茂状況



写真5. 第3回散布時の繁茂状況



写真2. 第1回散布時の草丈



写真4. 第2回散布時の草丈



写真6. 第3回散布時の草丈

(2018 作物群 なす)

別紙2-2 小なす(品種:十市小なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場



写真7. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況



写真9. 最終散布14日後試料採取時の果実の状況



写真8. 最終散布14日後試料採取時の草丈



写真10. 最終散布14日後試料採取時の果実の状況

(2018 作群 なす)

別紙2-3 米なす(品種:くろわし)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場



写真1. 第1回散布時の繁茂状況



写真3. 第2回散布時の繁茂状況



写真5. 第3回散布時の繁茂状況



写真2. 第1回散布時の草丈



写真4. 第2回散布時の草丈



写真6. 第3回散布時の草丈

(2018 作物群 なす)

別紙2-3 米なす(品種:くろわし)



写真7. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況



写真9. 最終散布14日後試料採取時の果実の状況



写真8. 最終散布14日後試料採取時の草丈



写真10. 最終散布14日後試料採取時の果実の状況

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

2018年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 2018年11月 ~2018年12月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型 ①アトマ作-顆粒水和剤 (イシタコブリト) ②サビ〜フエアア (クリバシムジカ) ③レバ〜ン乳剤 (エトフェンブ ロックス)

(2) 有効成分名及び成分含有率 ①イシタコブリト 50% ②クリバシムジカ 44.2% ③エトフェンブ ロックス 20%

(3) 被験物質の Lot No. ①21.10 T8A02 ②21.10 HAA005 ③21.10 S8Y02

2. 農作物名 (品種) 中長なす (千両)、長なす (筑陽)、大長なす (庄屋大長)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 11913

4. 試験責任者氏名 飯干浩美、日高正浩、小川和巳、富田俊介

5. 土性 千両区・庄屋大長区 砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土 減水深 — cm/日

筑陽区 砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても提出しません)

別紙のとおり。

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、密着、栽培密度 (畝間・株間)・株数 (/10a)、水管理等、被覆資材 (茶は寒れい紗等)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・竹林栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

作物名：中長なす (千両)

播種日：2018年7月24日 定植日：9月11日

畝間 160cm、株間 50cm、1条植主枝3本仕立て、 栽植密度 (/10a) 約 1,330株

施肥 (/10a) 2018年8/27 堆肥4,000kg、苦土石灰160kg、有機配合888号(8-8-8)188kg、CDU複合燐

加安特S222(12-12-12)125kg、11月8日、11月30日 いきいき有機特号(6-6-6)42kg施用

トマトーン100倍処理 2018年9月18日~11月30日 収穫期間(適期) : 10月下旬~

作物名：長なす (筑陽)

播種日：2018年7月24日 定植日：9月11日

畝間 160cm、株間 50cm、1条植主枝3本仕立て、 栽植密度 (/10a) 約 1,330株

施肥 (/10a) 2018年8/27 堆肥4,000kg、苦土石灰80kg、有機配合888号(8-8-8)100kg、CDU複合燐

加安特S222(12-12-12)67kg、11月8日、11月30日 いきいき有機特号(6-6-6)42kg施用

トマトーン100倍処理 2018年9月18日~11月30日 収穫期間(適期) : 10月下旬~

作物名：大長なす (庄屋大長)

播種日：2018年7月24日 定植日：9月11日

畝間 160cm、株間 50cm、1条植主枝3本仕立て、 栽植密度 (/10a) 約 1,330株

施肥 (/10a) 2018年8/27 堆肥4,000kg、苦土石灰160kg、有機配合888号(8-8-8)188kg、CDU複合燐

加安特S222(12-12-12)125kg、11月8日、11月30日 いきいき有機特号(6-6-6)42kg施用

トマトーン100倍処理 2018年9月18日~11月30日 収穫期間(適期) : 10月下旬~

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても提出しません)

2018/9/12 ベルターフロアブル 2000倍、アーム乳剤 2000倍散布、10/8 プレバ〜ンフロアブル 2000倍、セバ〜ンフロアブル 2000倍、

アーム乳剤 2000倍、ミレックス水和剤 1000倍散布、10/23 プレバ〜ンフロアブル 2000倍、アタ〜メック 500倍、ベス〜ート 水溶剤

1000倍散布、11/8 トップジン水和剤 1500倍、トア〜ン水和剤 3000倍、セバ〜ンフロアブル 2000倍、フェニックス顆粒水和剤

2000倍散布

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 千両区 (G区) :108.0㎡ (1.6m×22.5m×3畝)、135株

筑陽区 (H区) :40.8㎡ (1.6m×8.5m×3畝)、51株

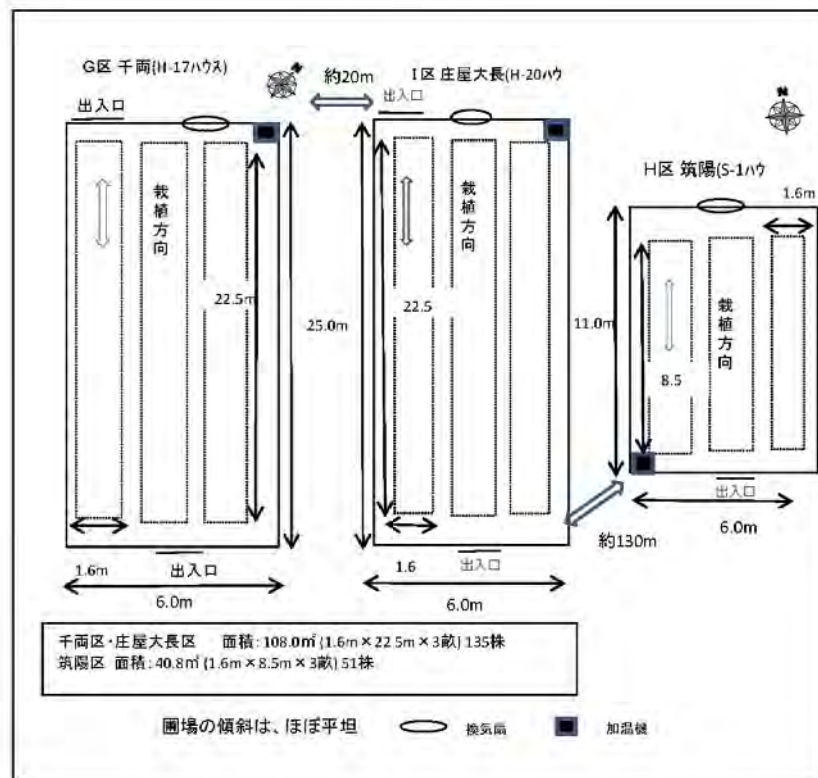
庄屋大長区 (I区) :108.0㎡ (1.6m×22.5m×3畝)、135株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ G区・I区 面積:150.0㎡、容積:400.0㎡、高さ:3.3m

H区 面積:66.0㎡、容積:176.0㎡、高さ:3.3m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作成して下さい。果樹 1 樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の敷方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は排水口および排水溝を記入して下さい。



(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

1 1. 処理方法 (下の A ~ G 欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	千両区 (G 区)	筑陽区 (H 区)	庄屋大長区 (I 区)	無処理区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
						10a 当	試験区当 (農薬量 / 散布量 / 面積)		
11 月 19 日	②③				②3000 倍 ③1000 倍	281 L	②10.13mL③30.4mL / 30.4L / 108.0m ²	収穫期 (草丈約 150cm)	混用散布
		②③				282 L	②3.83mL③11.5mL / 11.5L / 40.8m ²	収穫期 (草丈約 160cm)	
			②③			281 L	②10.13mL③30.4mL / 30.4L / 108.0m ²	収穫期 (草丈約 170cm)	
11 月 26 日	①②③				①5000 倍	281 L	①6.08mL②10.13mL③30.4mL / 30.4L / 108.0m ²	収穫期 (草丈約 160cm)	混用散布
		①②③			②3000 倍	282 L	①2.3mL②3.83mL③11.5mL / 11.5L / 40.8m ²	収穫期 (草丈約 170cm)	
			①②③		③1000 倍	281 L	①6.08mL②10.13mL③30.4mL / 30.4L / 108.0m ²	収穫期 (草丈約 180cm)	
12 月 3 日	①②③				①5000 倍	281 L	①6.08mL②10.13mL③30.4mL / 30.4L / 108.0m ²	収穫期 (草丈約 165cm)	混用散布
		①②③			②3000 倍	282 L	①2.3mL②3.83mL③11.5mL / 11.5L / 40.8m ²	収穫期 (草丈約 175cm)	
			①②③		③1000 倍	281 L	①6.08mL②10.13mL③30.4mL / 30.4L / 108.0m ²	収穫期 (草丈約 185cm)	

① アドマイヤー顆粒水和剤 ② ストロビーフロアブル ③ トレボン乳剤

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
11 月 19 日	背負式バッテリー動力噴霧機 (丸山製 MSB1500Li) に キョウカクコンノズル 1 頭口 (丸山製) を装着して均一に散布 した。	G 区 処理開始時刻 16:09 H 区 処理開始時刻 15:04 I 区 処理開始時刻 15:24	処理時天候 くもり、処理当日天候 雨のちくもり、風の影響はなし
11 月 26 日		G 区 処理開始時刻 15:18 H 区 処理開始時刻 14:15 I 区 処理開始時刻 14:34	処理時天候 くもり、処理当日天候 くもりのち一時雨、風の影響はなし
12 月 3 日		G 区 処理開始時刻 11:30 H 区 処理開始時刻 10:25 I 区 処理開始時刻 10:45	処理時天候 雨、処理当日天候 雨時々くもり、風の影響はなし

(1) 展着剤 ———— 使用した区番号 ———— 濃度または量 ————

(2) 備考 ————

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	千両区(G区) 試料番号	筑陽区(H区) 試料番号	庄屋大長区(I区) 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
11月 19日	SEN-M-C(無処理)	TIK-M-C(無処理)	SYO-M-C(無処理)	G区 8:48~9:10, 9:30~9:40 雨 H区 10:22~10:37, 10:48~10:54 I区 11:13~11:30, 11:42~11:48	G→H→I	SEN-M-C 2.4kg TIK-M-C 2.4kg SYO-M-C 2.5kg	11月 19日
12月 3日	SEN-M-0 SEN-M-0S SEN-M-0L	TIK-M-0 TIK-M-0S TIK-M-0L	SYO-M-0 SYO-M-0S SYO-M-0L	G区 15:50~16:13 くもり H区 13:30~14:00 I区 14:40~15:10	H→I→G	SEN-M-0 2.4kg SEN-M-0S 0.7kg SEN-M-0L 1.0kg TIK-M-0 2.2kg TIK-M-0S 0.7kg TIK-M-0L 1.1kg SYO-M-0 2.4kg SYO-M-0S 0.7kg SYO-M-0L 1.3kg	12月 3日
12月 4日	SEN-M-1 SEN-M-1S SEN-M-1L	TIK-M-1 TIK-M-1S TIK-M-1L	SYO-M-1 SYO-M-1S SYO-M-1L	G区 9:15~9:45 くもり H区 7:00~7:30 I区 8:10~8:42	H→I→G	SEN-M-1 2.6kg SEN-M-1S 0.6kg SEN-M-1L 1.2kg TIK-M-1 2.5kg TIK-M-1S 0.9kg TIK-M-1L 1.4kg SYO-M-1 2.5kg SYO-M-1S 0.6kg SYO-M-1L 1.3kg	12月 4日
12月 6日	SEN-M-3	TIK-M-3	SYO-M-3	G区 9:41~10:00 くもり H区 8:00~8:22 I区 9:00~9:22	H→I→G	SEN-M-3 2.5kg TIK-M-3 2.4kg SYO-M-3 2.7kg	12月 6日
12月 10日	SEN-M-7 SEN-M-7S SEN-M-7L	TIK-M-7 TIK-M-7S TIK-M-7L	SYO-M-7 SYO-M-7S SYO-M-7L	G区 11:01~11:31 くもり H区 8:50~9:18 I区 10:01~10:30	H→I→G	SEN-M-7 2.6kg SEN-M-7S 0.7kg SEN-M-7L 1.1kg TIK-M-7 2.5kg TIK-M-7S 0.7kg TIK-M-7L 1.4kg SYO-M-7 2.6kg SYO-M-7S 0.6kg SYO-M-7L 1.7kg	12月 10日
12月 17日	SEN-M-14	TIK-M-14	SYO-M-14	G区 10:08~10:28 晴れ H区 9:00~9:14 I区 9:32~9:50	H→I→G	SEN-M-14 2.6kg TIK-M-14 2.7kg SYO-M-14 2.6kg	12月 17日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
11月 19日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <u>通常</u> やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月 3日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <u>通常</u> やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月 4日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <u>通常</u> やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月 6日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <u>通常</u> やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月 10日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <u>通常</u> やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月 17日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <u>通常</u> やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

(1) 試料採取方法 使用した器具（機械）、採取方法の詳細、
採取後乾燥のための輸送方法を記載

試験区の境界部を除く区全体から、はさみを用いて果実を採取し、採取用カゴに入れ場内の試料調製室まで自動車で行った。

(2) 採取後の調製・梱包方法

採取した果実は、ダンボール箱内側に未使用の包装紙（ボークスペーパー）を敷いたものに並べて入れ、上から包装紙を被せ、梱包した。

ダンボール箱内側に試験区ラベルを、外側に梱包シールを貼付し果実サイズ毎、別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所 荒井雄太

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の冷蔵便を使用し、送付翌々日（午前中）着指定で送付した。

(5) 備 考

生育調査月日：10月29日、31日、11月2日、5日、7日、8日、9日、12日、13日、14日

試験期間中の灌水月日：11月22日、23日、29日、30日、12月1日、5日、8日、13日、14日、16日

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

気 象 表

観測地点 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 1 1 9 1 3 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場 当該試験施設 (H-20) 記号; ○: 薬剤処理日
試料調製場所 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 1 1 9 1 3 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場 △: 試料採取日
気温: 平均気温 (1 時間毎) 降水量: 日界 0 時 * : S・Lサイズ 果実採取
(30年) 測定時刻 午前 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
11	気温 (施設内温度)																			17.1	18.3	18.0	18.6	17.9	18.2	19.1	17.9	18.3	16.5	18.4	18.6	
	降 水 量																			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬剤処理/試料採取																			○△							○					
	区記号 (試料番号)																			SYO-M-C												
12	気温 (施設内温度)	18.8	17.0	19.4	21.4	20.6	20.9	19.0	18.4	18.7	18.6	18.1	19.8	19.1	19.3	18.5	17.7	19.5														
	降 水 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
	薬剤処理/試料採取			○△	△		△				△							△														
	区記号 (試料番号)			SYO-M-0	SYO-M-1*		SYO-M-3				SYO-M-7*						SYO-M-14															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															

施設内温度測定には、(株) ティアンドデイ社製「おんどとり TR-71Vi」を使用した。

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

6. 過去1年間に使用した農薬

〔G区 千両:H-17ハウス〕

(作物: いちご)

2017年 11/18 ベネビアOD 2000倍散布

11/24 カネマイトフロアブル 1000倍, 粘着くん液剤 100倍散布

12/7 カネマイトフロアブル 1000倍, マイトコーワフロアブル 1000倍, アフェットフロアブル 2000倍散布

12/13 アファーム乳剤 1000倍, 粘着くん液剤100倍, スミレックス水和剤 2000倍散布

12/19 スパイデックス 6000頭/10a放飼

12/24 サンクリスタル乳剤 300倍散布

2018年 1/9 スパイデックス 6000頭/10a放飼

1/12 サンクリスタル乳剤 300倍散布, スパイデックス 6000頭/10a放飼

1/16 カネマイトフロアブル 1000倍, サンクリスタル乳剤 300倍散布

1/9, 15, 23 NC-241フロアブル 2000倍散布

1/3, 10, 17, 24 S-2190 40SC 3000倍散布

2/20 サンクリスタル乳剤 300倍散布

2/19, 26 KII-9396 (KVI-1821) 水和剤 1000倍散布

2/19, 26, 3/5 BAF-1707フロアブル 4000倍散布

(作物: きゅうり)

4/12 アルバリン粒剤 2g/株, DKN-2601粒剤 20kg/10a

4/16 ジマンダイセン水和剤 600倍, ハチハチ乳剤 1000倍散布

4/27 ジマンダイセン水和剤 600倍, アフェットフロアブル 2000倍, モベントフロアブル 2000倍散布

5/8 アルバリン粒剤 1g/株

5/9 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍, アフェットフロアブル 2000倍散布

5/14, 21 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍

5/16 モレスタン水和剤 2000倍散布

5/30 モレスタン水和剤 2000倍, ダントツ水溶剤 2000倍散布

6/3 ハチハチ乳剤 1000倍, コルト顆粒水和剤 4000倍散布

(作物なし)

8/9 テロン 35L/10a全面土壌処理

〔H区 筑陽:S-Iハウス〕

(作物: メロン)

2017年 11/17 ロブラール水和剤 1000倍, モレスタン水和剤 2000倍散布

12/5 SYJ-283フロアブル 500倍・1000倍散布

(作物: ビーマン)

2018年 2/1 スミレックス水和剤 1000倍散布

2/27 アファーム乳剤 2000倍, コルト顆粒水和剤 4000倍散布

3/2, 9, 16 NC-241フロアブル 2000倍・3000倍, S-2399 40SC 4000倍, エイターフロアブル20 1000倍散布

〔H区 筑陽:S-1ハウス〕

(作物: メロン)

2018年 5/25 ロブラール水和剤 1000倍, アフェットフロアブル 2000倍, サンクリスタル乳剤 300倍散布

6/20 ペンレート水和剤 2000倍, ロブラール水和剤 1000倍散布

7/10 サンマイトフロアブル 1000倍散布

5/21, 6/11, 7/9 SYJ-293フロアブル 1000倍・2000倍散布

8/9 テロン 35L/10a全面土壌処理

〔I区 庄屋大長:H-20ハウス〕

(作物: メロン)

2017年 12/29 サンマイトフロアブル 1000倍, ジマンダイセン水和剤 600倍, アフェットフロアブル 2000倍散布

2018年 1/18 ベストガード水溶剤 2000倍, モレスタン水和剤 3000倍, ロブラール水和剤 1000倍散布

2/9 ライメイトフロアブル 2000倍, アフェットフロアブル 2000倍, ロブラール水和剤 1000倍散布

2/27 ロブラール水和剤 1000倍, バルミフロアブル 2000倍散布

1/29, 2/5, 12, 20, 26, 3/5, 12, 19, 26 XDE-208(DAI-1001)フロアブル 1000倍散布

(作物: すいか)

5/3 コルト顆粒水和剤 4000倍, アフェットフロアブル 2000倍散布

5/23 ベルガードフロアブル 1000倍, アフェットフロアブル 2000倍, モスピラン顆粒水溶剤 2000倍, デイナSC 2500倍散布

5/25 ネマキック液剤 4000倍2L/m灌注

6/5 アグリメック 500倍, マイトコーワフロアブル 1000倍, モレスタン水和剤 2000倍, ウララDF 2000倍散布

6/15 コリクフロアブル 2000倍, コルト顆粒水和剤 4000倍, プレオフロアブル 1000倍, バルミフロアブル 2000倍散布

6/13, 19, 25 AKD-5196SC 1000倍散布

5/2 アルバリン粒剤 2g/株定植時植穴土壌混和

5/30, 6/13 アルバリン粒剤 2g/株 株元散布

5/30, 6/6, 13 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍散布

8/9 テロン 35L/10a全面土壌処理

〔全区共通〕

(作物: なす)

育苗期

2018年 8/13 アファーム乳剤 2000倍, モベントフロアブル 2000倍散布

9/3 ベリマークSC 400株当たり25ml

(2018 作物群 なす)

別紙2-1 中長なす(品種:千両)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場



写真1. 第1回散布時の繁茂状況



写真3. 第2回散布時の繁茂状況



写真5. 第3回散布時の繁茂状況



写真2. 第1回散布時の草丈



写真4. 第2回散布時の草丈



写真6. 第3回散布時の草丈

(2018 作物群 なす)

別紙2-1 中長なす(品種:千両)



写真7. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況①



写真9. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況①



写真8. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況②



写真10. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況②

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

(2018 作物群 なす)

別紙2-2 長なす(品種:筑陽)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場



写真1. 第1回散布時の繁茂状況



写真3. 第2回散布時の繁茂状況



写真5. 第3回散布時の繁茂状況



写真2. 第1回散布時の草丈



写真4. 第2回散布時の草丈



写真6. 第3回散布時の草丈

(2018 作物群 なす)

別紙2-2 長なす(品種:筑陽)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場



写真7. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況①



写真9. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況①



写真8. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況②



写真10. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況②

(2018 作物群 なす)

別紙2-3 大長なす(品種:庄屋大長)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場



写真1. 第1回散布時の繁茂状況



写真3. 第2回散布時の繁茂状況



写真5. 第3回散布時の繁茂状況



写真2. 第1回散布時の草丈



写真4. 第2回散布時の草丈



写真6. 第3回散布時の草丈

(2018 作物群 なす)

別紙2-3 大長なす(品種:庄屋大長)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場



写真7. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況①



写真9. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況①



写真8. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況②



写真10. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況②